

Volunteer Information

ボランティア
インフォメーション

2026
5月

日野

5月

真剣に防災減災について考えたい方大募集！

災害に備えて、
今できることを



防災・減災シンポジウム 実行委員募集

日野市では、地域の防災・減災に関心のある市民が集まり、議論を重ねるシンポジウムを毎年9月頃に開催しています。

自治会、ボランティア、個人などのさまざまな立場の市民が参加し、「もしも」に備えて今できることを考えています。



「何かしたい」と思った方へ。

一緒に考え、行動する仲間を募集しています！

【初回開催】 ※以後、隔週に1度開催(全8回)

日時：5月25日(月) 18:30~20:30

場所：福祉支援センターたまだいら
(多摩平2-8-9)



申込はコチラ

今月注目のボランティア



人前で披露できる特技がなくても、誰かの力になることができます！

あなたの『好き』を活かして活動してみませんか？

●将棋・囲碁・麻雀の対局相手

活動先：市内各所の高齢者施設にて
対象：主にデイサービスを利用する方
内容：一緒に楽しく対局をする活動

●お話相手(傾聴ボランティア)

活動先：市内各所の高齢者施設にて
対象：入居者・デイサービス等の利用者の方
内容：お話相手として一緒に時間を過ごす活動

●スマホ・パソコンの操作を教える活動

活動先：福祉支援センターたまだいら
内容：操作で困っている方のお手伝い

活動先の見学だけでも大歓迎！

まずはボランティアセンターまでご相談ください！

季節のはがき、一緒に作りませんか？

ボランティアサークル
「たまたまばこ」



メンバー募集中！

活動日：毎月第1・第3 火曜日

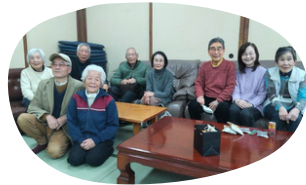
時間：10:00~12:00

場所：日野市立中央福祉センター（日野市日野本町7-5-23）

問い合わせ先：日野市ボランティア・センター

TEL 042-582-2318

【お知らせ】茶屋よりそいが月2回（第2・第4月曜日）福祉支援センターたまだいらで開催されます♪



認知症家族と当事者と高齢者の集いの場

茶屋よりそいでお話した内容は秘密厳守です。

介護の会「オレンジ」茶屋よりそい

1人で悩んでいませんか？頑張り過ぎていませんか？

私たちは、介護体験者です。介護体験を通して切実に思うのは、当事者のケアも大切ですが、介護者の心身の負担を軽減し、笑顔で介護を続けるための心のケアも必要なのです。そんな思いで私たちは、当事者及び家族の方、そして地域高齢者の方々に寄りそって、ホッと一息つける場を、との思いで茶屋「よりそい」を開きました。お茶を飲みながら、ゆっくりお話ししませんか。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい！（*^_^）

2026年度 上半期予定
緑は日野、オレンジは豊田

5月：11日、18日、25日

6月：1日、8日、15日、22日

7月：6日、13日、27日

8月：3日、10日、17日、24日

9月：7日、14日、28日

中央福祉センター 福祉支援センターたまだいら



★毎月第1・3月曜日 14:00~16:00

中央福祉センター（日野本町7-5-23）最寄り日は野駅

★毎月第2・4月曜日 10:30~12:30

福祉支援センター（多摩平2-8-9）最寄り豊田駅

申込み：不要（途中参加、途中退室もOK）

スマホ個別相談会 開催中！

5月20日(水) (個別相談会)



時間：13:30～15:00

会場：平山交流センター (平山5-18-2)

5月25日(月) (スマホ体験会&相談会)

時間：10:30～12:00

会場：中央福祉センター (日野本町7-5-23)

5月25日(月) (個別相談会)

時間：13:30～15:00

場所：福祉支援センターたかはた(高幡1011)

5月28日(木) (個別相談会)



時間：13:30～15:00

会場：福祉支援センターたまだいら(多摩平2-8-9)

無料・完全予約制

※上記相談会へのご予約は原則2か月に1回

※連続月でのご予約希望は、キャンセル待ちで受付

※東京アプリに関する相談は右記相談会にて対応します

特別編

東京アプリ登録サポート会 ～最大11,000ポイント～

日時：5月29日(金) 10:00～16:00

会場：福祉支援センターたまだいら
(多摩平2-8-9)

全6回・各回1時間程度

① 10:00～ ② 11:00～

⑤ 14:00～ ⑥ 15:00～

③ 12:00～ ④ 13:00～

△注意事項△

※登録にはマイナンバーカードと暗証番号が必要です

※機種によって申込ができない場合があります

※その他、注意事項はお申し込みの際にお伝えします

【申込先】日野市ボランティア・センター ☎042-582-2318

※5月1日(金) 9:00～受付開始

食べきれなくて余っている

食品をおすそ分けしませんか？

ご家庭で余っている未使用食品を地域の福祉団体や施設、困っているかたへ寄付することを「フードドライブ」といいます。

喜ばれる食品

- ・お米・乾麺など
- ・缶詰
- ・インスタント食品
- ・レトルト食品
- ・お菓子
- ・飲料水



受け取れない食品

- ・生鮮食品
- ・冷凍食品
- ・アルコール
- ・手作り食品
- ・開封されたもの
- ・賞味期限切れのもの



ボランティアセンターでも食品の寄付を受付していますので、ぜひお気軽にお持ちください！

問合せ・受取先

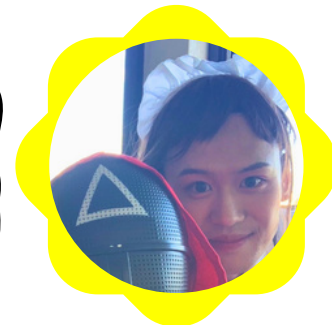
日野市ボランティア・センター
福祉支援センターたまだいら 1F
(日野市多摩平2-8-9)

TEL: 042-582-2318

学生インターン

ちすわじん

千須和仁



1年間という短い期間でしたがお世話になりました！！僕自身が福祉系の学部ではなく実習などが無いので、社協の内部を知り実務を体験できるインターンシップはとても貴重な経験になりました。また、この経験は僕の考え方や進路選択に大きく影響を与えてくれ、福祉業界に道を進める意思が固まりました。引き続き日野市内のボランティアには顔を出し続けたいと思っているので、今後もよろしくお願いします。



まちづくり人 コラムリレー

誰もが住みやすい豊かなまちを目指して、日野市内外で輝く「まちづくり人」を紹介します。
あなたもきっと「まちづくり人」！



株式会社 瀧澤建設 会長
瀧澤 博幸 さん

世のため人のために尽くす

私の原点は、子どもの頃に母から何度も聞かされた言葉にあります。「目の見えない人もいる。耳の聞こえない人もいる。世の中にはいろんな人がいるんだから、人に親切にしないさい」

そう教えられて育ちました。母は若い頃、看護師として多くの人の苦しみや痛みにもふれてきたからこそ、その言葉には重みがありました。

私は北海道で九人きょうだいの末っ子として育ちました。多くの子どもを育てるために、母は畑を耕し、きょうだいと川で魚をとって食卓に並べるような自給自足に近い暮らしをしていました。お金を使うことは多くありませんでしたが、不思議と不自由さもなく、家族で支え合う日々はとても豊かだったと感じています。

社会に出たとき、最初の給料は福祉施設に寄付しようと思いで思っていました。しかし現実にはできず、その悔しさは今でも心に残っています。道路工事の仕事に入り、北海道から名古屋、沖縄、東京へと

全国を回りました。高速道路やトンネルなど地図に残る仕事に携わりながら技術を身につけ、その後、日野の地で会社を興しました。何もなかったところからの出発でしたが、「世のため人のために役立つ会社になりたい」という思いは変わりませんでした。

周りの人からは「苦労したでしょう」と言われますが、私は自分が苦労してきたと思っただけは一度もありません。どんな経験も、人との出会いや学びにつながってきたと感じています。

私にとって大きかったのは、妻との出会いです。初めて会ったとき、この人と結婚すると思いませんでした。妻は福祉の仕事に関わっていたこともあり、困っている人を見かけると放っておけない人でした。道ばたで困っている人がいれば、ためらうことなく助けに向かう。その姿勢が会社の土台になっています。

そして、私の生き方に大きな影響を与えたのが次女の存在です。三歳で難聴を患いながらも明るく成長し、周りへの気配りもできる優しい子でした。その姿から、聞こえないことも特別なことではなく

一つの違いとして受け止めるようになりました。そうした経験もあり、耳が聞こえずらいデフサッカー日本代表の名村昌矩選手を会社に迎え入れることに迷いはありませんでした。彼には仕事の技術を教えながら、将来の幸せも考えています。

実は、次女は二十一歳のとき、不慮の事故によってこの世を去りましたが、突然の別れではありませんでしたが、次女の優しさは今も自分の中に残っています。

私は、会社は利益だけを追求存在ではなく、地域に返していく存在だと考えています。子ども食堂や学習支援など、本当に必要としている人に直接つながる支援を大切に行っています。「応援している」という気持ち何より大事です。

そして何より、「日野に瀧澤建設があつてよかった」と思ってもらえる存在でありたい。そのため、世のため人のために尽くすことこそが自分の役割だと考えています。

これからも思いやりを忘れず、人のために動くことを大切にしながら歩んでいきたいと思っています。



瀧澤さんと奥様三重子さんとの思い出の写真

ボラセンつぶやき

この時期、ツツジの花きれいですよね！大好きです。見ていただけで明るい気持ちになります。「ツツジ」のイントネーションの違いも、この時期の楽しい話題のひとつです。みなさんはどう発音しますか？あがる？さがる？（宮崎雅也）

新緑が気持ちよく、外に出るのが楽しくなる季節になりました。天気の良い日は特に、どこか遠くへ旅に行きたい気持ちが沸いてきます。海外も素敵ですが、やはり日本は別格な観光地だと思います。今年こそ九州地方へ！（橋谷優希）

4月にコニカミノルタの「さくらまつり」に、手芸サークル「はなみずき」と参加しました。雨の中でしたが、小学生の来場者が昨年の福祉体験をきっかけに声をかけてくれ、人とのつながりを感じる一日となりました。（花野美保）

4月からドレミの部屋はたまだいらと日野の2か所で行うようになります。たまだいらでは初開催となり緊張しましたが、心地よい時間が過ごせたと思います。ホッと一息つける居場所に足を運んでみませんか（小俣由佳子）

過ごしやすい陽気で外遊びに最適な季節ですね。先日、子どもたちと黒川清流公園に遊びに行きましたが、貸し切り状態でゆっくり過ごすことができました。笹の葉がたくさん生えていましたので、笹船を教えてあげると大喜びで川に流していました。本格的に暑くなる前に、外遊びをたくさん体験させてあげたいです(^-^)（宮田彩乃）